平成31年度

# 事業計画（案）

社会福祉法人　容風会

## おきなの杜

# 『人の集まる処、おきなの杜』　～新おきなの杜 発信！～

昨年は、『“新”おきなの杜』をスローガンに掲げ、全ての業務の見直し（仕事の棚卸し）を行い、業務改善に取り組んできました。
また、昨年より取り組んでいる3つのチャレンジ「成果を出す機能訓練の充実」、「ノーリフティングケアによる介護技術の向上」、「人材教育による職場の安定」を引き続き推し進め、その内容を地元地域へ発信し、「おきなの介護」を見ていただき、評価していただき、おきなの杜が、たくさんの人が集まる処にしていきます。

そのために、「人が集まる九か条」を実践していきます。

## 《人が集まる九か条》

**一、「人は、人が集まる処へ集まる」** ・・・・・・・ 地元地域とのつながりを強化するため、校区社会福祉協議会や地域行事に、これまで以上に参画し、介護のコト、おきなのコトをたくさん発信します。

**二、「人は、快適な処へ集まる」**・・・・・・・・・・・・ 常に整理整頓、清掃、清潔を徹底し、気持ちのいい挨拶とともに快適な空間を作ります。

**三、「人は、噂になっている処へ集まる」**・・・・・ 3つのチャレンジの様子や成果を、どんどん発信し、「いい噂」をたくさん戴きます。

**四、「人は、夢の見られる処へ集まる」**・・・・・・・ 介護福祉という仕事に誇りと夢をもち、自らの成長を実感できる教育をします。

**五、「人は、良いもののある処に集まる」**・・・・・・ 「おきなの杜なら安心だ！」と言っていただけるサービスを提供します。そのために、介護技術向上の手をゆるめません。

**六、「人は、満足の得られる処へ集まる」**・・・・・ 利用者とスタッフの満足と笑顔を得るための職場作りをします。

**七、「人は、自分の為になる処へ集まる」**・・・・・ 利用者の望む成果を出すため、スタッフが成長できる人材教育をします。

**八、「人は、感動を求めて集まる」**・・・・・・・・・・・ 期待通りではなく、期待以上に応えるサービス精神を発揮します。

**九、「人は、心を求めて集まる」**・・・・・・・・・・・・・ ひとりひとりが、お互いに思いやりと感謝の気持ちをもって働きます。

社会福祉法人　容風会
理事長　　金丸　正勝

# 『“新”おきなの杜』 ～伝える。考える。動く。～

**昨年から掲げた運営方針、「『“新”おきなの杜』～伝える。考える。動く。」は、**
**これからの10年を見据えたスローガンであり、まだまだ道半ばであるため、引き続き推し進めていきます。**
**常に新しいことへチャレンジできる組織風土を作り、最後まであきらめず、やりきる人材作りを行います。**

そのため、昨年スタートした全ての業務の見直し（仕事の棚卸し）による業務改善と、昨年より取り組んでいる3つのチャレンジ「成果を出す機能訓練の充実」、「ノーリフティングケアによる介護技術の向上」、「人材教育による職場の安定」に加え、委員会・学習会、会議・行事等についても同様に、指針・実施方法・関係性の整理と見直しを、引き続き推し進めていきます。

**□運営方針を実践するためにスタッフが身につけるべきスキルとは**

① **『伝える力』**　おきなの杜の魅力や介護サービス情報を正確に的確に**『伝える力』**を身につけよう。
② **『考える力』**　情報に敏感になり、集めた情報を活かすため、**『考える力』**を身につけよう。
③ **『動く力』**　スタッフみんなが自信を持って活動する**『動く力』**を発揮しよう。

**□経営面での取り組み**

・業務の効率化・省力化、経費削減のため、システム化・IT化・IoTの活用を積極的に実施していく。
・求人ならびに集客力を強化するため、SNSの活用等、広報PR力を高め、法人の魅力をより多く広く発信していく。
・スタッフに対する貢献度と地元貢献度の高い法人を目指す。
（※「人が集まる処 おきなの杜　働き方改革2020プラン アイデア・ミーティング」）
（※災害からの「事業継続計画（BCP・BCM）プロジェクトチーム」）

# 特別養護老人ホーム おきなの杜

2019スローガン

**「寝たきり・座らせっぱなし」にしない。「廃用症候群」を起こさせません。**

〈運営方針〉

昨年度は、ノーリフティングケアの技術習得のための学習会を積極的におこないました。その結果、福祉用具を活用したノーリフティングケアが日常的に取り入れられ、住民様、スタッフの負担軽減につながっています。今年度は、ノーリフティングケアをおきなの杜の介護技術の基準とし、スタッフ全員が介護のプロとして自信を持ってケアができるように技術を身につけ、ケアの統一を図り、介助中の事故ゼロを目標に安全なケアに取り組んでいきます。
また、廃用症候群にならないために、住民様の基本的生活動作 （バーセルインデックス）を半年ごとに評価し、多職種で身体機能アップのためのケアプランを立案し実践していきます。一般的に入院してベッド上で安静にしていると約20％の筋力が衰え、それが原因で廃用症候群になるとも言われています。まずは入院しない・させないために早期発見、早期治療、早期帰設に努めていきます。
今後は、これらのチャレンジや取り組み、その結果をご家族様や地域、そして外部での研修会等でどんどん発信していきます。
そのためにもリーダーが中心となり「伝える力」「考える力」「動く力」を身につけていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 介護技術の基本は「ノーリフティングケア」。スタッフ全員でノーリフティングケアの技術を身につけます。

〈約束〉

① ﾉｰﾘﾌﾃｨﾝｸﾞｹｱの学習会を開催し、技術を身につけ、練習を行います。
② ケアの統一を図り、介助中の事故ゼロを目標に安全なケアを行います。
③ 半年ごとに住民様の基本的生活動作を評価し、身体機能の低下を防ぐケアプランを立案し、全員で実践します。

**目標2** おきなの杜のケアを確立し、業務改善を行います。

〈約束〉

① ﾊﾝﾄﾞﾌﾞｯｸを活用しての学習会を開催。内容の見直しと更新を行います。
② 24時間シートの記入方法の統一と更新ルールを決めます。
③ ユニット間で相互評価を行います。現状の問題点を明確にし、改善策を検討していきます。

**目標3** 「伝える力」「考える力」「動く力」を身につけます。

〈約束〉

① スタッフ一人ひとりが自ら考え、意見を出し合える職場を目指します。
② 事例報告などをまとめ、外部で発表を行い、伝える力を身につけます。
③ ノーリフティングケアの実践等おきなの杜での取り組みを外部に向けて発信していきます。

# ショートステイ おきなの杜別館

2019スローガン

「ショートステイとは、どうあるべきか？」を問い直し、他にない魅力的なショートステイを創り上げます。

〈運営方針〉

今年度は、「ノーリフティングケア」をおきなの杜の介護技術の基本とし、介護のプロとして自信をもって活動できるようにスタッフ全員で技術を身につけます。ケアの統一を図り、介助中の事故ゼロを目標に安全なケアを行っていきます。
また、行事をより楽しんでいただくため、ご利用者の目線に立ち、希望を伺い、季節感があり、アクティブな企画に取り組みます。
そのためには、おきなの杜のショートステイだからできること、やりたいことを考えます。
ご家族様の希望でなく、ご利用者様自らおきなの杜のショートステイに行きたいと思ってもらえるようなショートステイを創っていきます。
稼働率は95％を目標とし、営業活動を毎月行います。キャンセルが発生した場合は、迅速に対応し、空床を無くしていきます。
日頃から、ご利用者様、ご家族様、ケアマネジャーの方と連絡を密に取り、希望に沿えるような対応を行っていきます。
また、新規の利用者様に継続して利用をしていただけるよう、しっかりアプローチを行っていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 介護技術の基本は「ノーリフティングケア」。スタッフ全員でノーリフティングケアの技術を身につけます。

〈約束〉

① ノーリフティングケアの学習会にスタッフ全員が参加し、技術を習得します。
② リーダーが主体となり、ユニット内でもノーリフティングケアの練習を行います。
③ ケアの統一により介護中の事故ゼロを目標に安全なケアを行います。

**目標2** 利用者様、ご家族様が満足していただけるようなサービスを考え、提供します。

〈約束〉

① 荷物管理の徹底を行い、忘れ物ゼロを遂行し、信頼度アップを目指します。
② 「外出したい」希望にすぐに応じられるような外出企画を実施します。
③ ご利用者様が身体を動かしたい、作りたいなど希望に沿える企画を実施します。

**目標3** 稼働率95％を目指します。

〈約束〉

① 毎月、各事業所へ実績を持って行き、営業活動を行います。
② 利用者様、ご家族様、ケアマネジャーとの信頼関係を築いていきます。
③ 新規の方の利用終了後は、利用後の感想や意見、要望を伺い、次の利用に繋がるように改善していきます。

2019スローガン

## 元気塾☆認知症予防・改善プロジェクト

〈運営方針〉

“dementia”に対応する言葉として“痴呆（症）”よばれていたものが，“認知症”と名称変更されてから15年が経ちました。
認知症という言葉と病態は広く一般に認識される様になりました。しかし、認知症を患う方の割合も増加傾向にあり、実際の対策は追いついていない状況です。デイサービスでは重度の認知症を患い、すでに診断・治療を受けられている方もいらっしゃれば、お付き合いを重ねていくうちに「もしかしたら認知症の症状かもしれない」と診断を受けられる方もおられます。多くの場合、御家族はご利用者様の変化に困惑され、「なぜ、どうして、元気だった父（母）は？」と悩まれます。
元気塾では今年も認知症の方への対応に積極的に取り組みを行います。
認知症介護実践者研修等への参加を進め、ご本人主体の介護を行うことで、出来る限り認知症の進行を緩徐化させ、在宅生活を続けることができるよう、ご利用者様、ご家族をサポートしていきます。また、軽度認知症の早期対応や予防について知識を深め、地域に発信していきたいと考えています。これまでに取り組んでいない「ユマニチュード」について研修参加し、学んでいきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

### 目標1　認知症のスペシャリストとしてご利用者様の状態を観察・理解・対応します。

〈約束〉

① 毎月、重度の認知症の方についての技術を身につけ、練習を行います。
② 認知症の進行予防に効果的なプログラムや活動の提供を行います。
③ 研修会参加や、認知症に関する施設見学等を行い、認知症スペシャリストを目指します。

### 目標2　在宅生活を続けるために…チーム一丸でサポートします。

〈約束〉

① 看護☆健康チェックで異常の早期発見と適切な対応を行います。
② 機能訓練☆転倒しない体づくりと自分のことが自分でできる事を目指します。
③ 介護☆毎日の生活に楽しみを持って過ごせるよう、意欲を引き出す活動の提供を行います。

### 目標3　発信！発進！

〈約束〉

① ご利用者様の状態変化等の情報を御家族・ケアマネジャーへ発信します。
② 定期的にSNSや活動報告などを通じて元気塾での取組みの発信を行います。
③ デイサービスを飛び出して、地域の方へ認知症予防などのミニ講座を行います。

2019スローガン

**今年も ”新”文化村！　合言葉は“やってみよう！”**

〈運営方針〉

大人のカルチャーセンターを目指し、文化村も今年で8年目を迎えます。
「生涯学習・趣味活動の文化村」を看板に、形になってきた手ごたえを感じています。
利用者様がご自分でやりたいことを選択して、参加する、主体的活動が軌道に乗ってきました。今年は平成の文化村から新しい時代の文化村へ進化したいと考えています。平成の文化村の殻を破るために、失敗を恐れず、挑戦する事から始めます。
「おきなの杜美術館計画」では、デイサービスフロアだけでなく、屋外を含めたおきなの杜全体を視野に入れた制作物展示・レイアウトに挑戦します。
機能訓練では生活の場に役立つ訓練の提案をすすめ、利用者様が効果(K)を実感(J)し、やりたくなる(Y)、『文化村KJYサイクル』を提唱いたします。
また、情報社会にも乗り遅れず、SNSを利用した情報発信や、記録業務のICT化も進めます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1**　**チャレンジ！もはやデイサービスの常識を超えた趣味活動の進化を行います。**

〈約束〉

① 「おきなの杜美術館計画」を始動します。
② みんなでチャレンジ！数ヶ月かけて大作作りにチャレンジします。
③ 主役はご利用者！何がしたい？やったことないこともやってみよう！を提案します。

**目標2**　**文化村的機能訓練・・K(効果)J(実感)Y(やりたくなる)サイクルのご提案と実践を行います。**

〈約束〉

① 在宅でも続けられるシンプルメニューの提案をします。
② 今日も明日もまたやろう！と思えるモチベーションアップ計画を実施します。
③ 成果が見える、お互いが刺激しあえる環境づくりを行います。

**目標3**　**デイサービスを超えたお付き合いを実践します。**

〈約束〉

① 行事にご家族やケアマネジャーをご招待します！一緒にやりまSHOW。
② 地域の方への出張講演会第2弾！をやります。
③ 文化村からSNSを定期的に発信！一人でも多くの方へ文化村の自慢話をお届けします。

# おきなの杜デイサービス OKINA de ARUKU

2019スローガン

**地域を元気に！OKINA de ARUKUは、ワンランクアップの成果を目指します。**

〈運営方針〉

OKINA de ARUKUは、平成29年8月にオープンして2年目を迎えました。「歩きたい!」思いを「歩けた！」の喜びに。スタッフ全員で機能回復に向けて全力でサポートしています。特徴としては、歩行分析器OKINA de PiTを活用し、数値やグラフ、動画で可視化する事でリハビリ成果をご利用者様にわかりやすくお伝えする事が出来、意欲の向上にも繋がっていることを実感しているところです。
今年度は、『人が集まる処、おきなの杜』のテーマに沿って、更なる成果を求め、OKINA de ARUKUはワンランクアップを目指します。
具体策として、ご利用者様がARUKUで運動をして良かった、今日も楽しかったと感じて頂けるように、リハビリの個別化の充実と、マンネリ化しない新鮮なリハビリを提供していきます。また、「おもてなしの心」を忘れず、接客・接遇を徹底し、ご利用者様の満足度を上げます。スタッフ間の連携を強化し、チーム力を上げ、「より良いサービスの提供、人が集まるデイサービス、満足の得られるデイサービス」へとワンランクアップしていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** さらなる「成果の見える化」を目指し、満足度をワンランクアップさせてます。

〈約束〉

① 「成果の見える化」について、利用者様に分かりやすくお伝えし、さらに意欲的に取り組んでいただけるよう努めます。
② 定期的な成績評価をスケジュール化し、先が見えるプログラムを提案します。
③ アンケートを実施するなど、ご利用者の意見をサービスに反映します。

**目標2** チーム力、発信力をワンランクアップします。

〈約束〉

① facebookで最低週1回情報発信し、多くの方にARUKUを知って頂きます。
② 他職種間での情報交換を徹底し、お互いに成長できる職場を作ります。
③ ご利用者様の情報をスタッフ間で常に共有し、状況把握に努めます。

**目標3** 稼働率90%を目指します。

〈約束〉

① 登録者150名を目指します。
（1日平均30名「15-15キャンペーン」）
② 営業活動を行い、新規獲得に努めます。
③ ご利用者・ご家族・ケアマネジャーや行政との信頼関係をしっかり築き、ARUKUファンを増やします。

2019スローガン

**在宅での生活がより良いものになるよう、心強い存在となります。**

〈運営方針〉

在宅で介護サービスを利用する高齢者の方が、様々な不安を抱えながらも住み慣れた自宅で生活が出来るよう、「高齢者の尊厳を支えるケア」の実現をめざし、ご自分の意志で自立した生活を送る事が出来るようサポートして行きます。
訪問介護で出来る事をスタッフ皆で考え、情報を共有し多職種と連携を図りながら利用者の不安を解消し、生活サポートサービスと一体的なサービスを充実させ、新たな人材確保も目指して行きます。
利用者一人ひとりと真摯に向き合い、自宅で可能な限りその人らしい生活が送れるよう、笑顔で接し、心に寄り添いながら精神的な支えとなり、自立支援に向けて利用者・家族の一番近い存在となるよう支援して行きます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 自宅での転倒を未然に防ぎます。

〈約束〉

① 共に活動する時の見守り・介助のポイントを身につけます。
② 環境整備を強化します。
③ 利用者へ転倒防止の情報発信をタイムリーに行います。

**目標2** 生活サポートサービスとの一体的サービスで利用者の生活の充実を図ります。

〈約束〉

① 傾聴しながら困り事などの問題解決に努めます。
② サポートスタッフとの連携を密に取ります。
③ 些細なことにも気づけるよう心配りに配慮します。

**目標3** スタッフのスキルアップに努めます。

〈約束〉

① スタッフ全員で情報の共有を図ります。
② 研修に参加し個々のスキルアップに繋げます。
③ 新たな人材確保に努めます。

2019スローガン

**みんな、よっといで！『介護の窓口、おきなの杜！』**

〈運営方針〉

利用者がいかなる状態になった場合においても、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて保健・医療・福祉にわたる指定居宅サービス等が、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮していきます。
また、介護保険制度の基本理念に沿って、高齢者自身によるサービスの選択、保健・医療・福祉サービスの総合的、効率的な提供、利用者本意、公正中立に行います。
医療と介護の連携の強化にあたっては、利用者の同意を得て主治医の意見を求めケアプランを交付します。
入院時における医療機関との連携を促進することについても、居宅介護支援の提供の開始にあたり、利用者等に対して、入院時に担当するケアマネジャーの氏名等を入院先医療機関に提供するよう依頼します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　地域包括ケアシステム推進の為、地域における存在感をあげていきます。**

〈約束〉

① いつも笑顔で、頼りになる地域の事業所を目指します。
② 介護と医療の協働・連携を推し進めます。
③ 地域とのふれあい、交流をより多く実践していきます。

**目標2　魅力ある人材育成の為、能力や知識を集めます！**

〈約束〉

① 研修に参加し、ケアマネジメント力を向上します。
② 他事業所との合同事例検討会を継続し、多様な意見や提案を学びます。
③ コミュニケーション能力の高い魅力ある人材を育成します。

**目標3　自立支援の為、利用者や家族の希望を集め、叶えます！**

〈約束〉

① 利用者、家族の思いに寄り添います。
② 自立支援のために、最適のサービスを模索し提案します。
③ 結果を出し笑顔や満足感を与えます。

# 生活サポートサービス　おきなの杜の御用聞き

2019スローガン

**サポート(＝介護)する人も、「安心・安全・安定・安価」にきちんとサポート!!**

〈運営方針〉

最近、ご本人様からよりも、介護をしているご家族様からの依頼を多くいただいてます。そこには、老々介護であったり、働き盛りのご家族様が仕事と介護の両立で悩まれてたり、お世話をしたくても遠方に住まれててできないもどかしさを持たれていたり…　様々な環境の中、私達を頼ってきてくださいます。介護保険内のサービスとは違い、私達の自費サービスの良いところの一つは、どなたにでもサービスを提供できるところです。
サポート(＝介護)している方の力に少しでもなりたい!!　その気持ちに寄り添い、穏やかな気持ちで毎日を過ごしていただきたい!!
それが結果として、その一家族の安心・安定した日々につながっていくのだと思います。
その手助けが少しでもできるよう、きちんとサポートしていきます。
また、地元貫校区で検討されている住民全体の生活支援活動とも連携し、地元の皆さんと一緒に安心をお届けしていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　ご依頼者様のストレスを軽減していきます。**

〈約束〉

① 不安を解消していただく、丁寧な対応をします。
② 機敏で的確な動きを心がけ、効率よく作業します。
③ 臨機応変な対応ができるよう、知識を増やし続けます。

**目標2　地元との連携の強化します。**

〈約束〉

① 市民センターとの関係を密にし、地元の方々と触れ合う機会を増やします。
② 生活支援活動と連携し、少しでも地元に貢献できるよう努めます。
③ 上記①②の活動を通し、サポートスタッフのリクルートを積極的に行います。

**目標3　ご依頼者様に感動を提供します。**

〈約束〉

① 提案やアドバイスができるようスキルアップに努めます。
② 接遇・マナーの見直しを定期的に行い気持ちの良い対応に努めます。
③ 技術の向上を図るため、定期的に勉強会を行います。

# 法人本部

2019スローガン

**「人が集まる処 おきなの杜」の実践のため、地域・利用者・職員が集まる仕組み・事業を創り上げます。**

〈運営方針〉

2019年の法人テーマを実践するため、地元地域との連携を発展させ、社会福祉法人の使命・容風会の法人理念である「子どもから高齢者までが、健康で、いきいきとした生活をおくることができる」、「地域ぐるみの健康の街づくり」を果たすことに、職員全員が意識をもって関わる、教育と活動を活性化していきます。加えて、機能訓練・リハビリを成果のあるものにしていき、利用者・住民の自立と活動を守るため、常に新鮮なプログラムの提供を実践していきます。貫校区が取り組む、「生活支援活動」と連携し、地域の事を「我が事」として貢献していきます。
また、一昨年より取り組んでいる「ノーリフティングケア」を、おきなの杜全事業の介護技術の基準としていくことを推進するため、定期的に研修・学習会を開催し、職員全員の技術習得を義務付け、キャリアパスとしての仕組みを作ります。
恒常的な人材確保の問題解消のために必要な女性・高齢者・外国人の雇用・活用を円滑に進めていくための、仕組み作りやルール作りを行います。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 子どもから高齢者までが、いきいきと健康に暮らせる『地域ぐるみの健康の街づくり』の実践していきます。

〈約束〉

①地域に向けた各種教室を数多く実施し地域の健康増進に寄与していきます。
②貫校区の生活支援事業と連携し、地域の困り事を我が事としてとらえ協働します。

**目標2** 「おきなの杜の介護技術の基準」として、ノーリフティングケアの技術習得を職員全員が目指します。

〈約束〉

①ノーリフティングケアの意義を職員間に浸透させます。
②月2回以上の法人内実技学習会を実施します。
③外部研修や外部講師を招いた研修に、多くの職員が参加し、技術習得に努めます。

**目標3** 女性・高齢者・外国人の雇用・活用のための、仕組みとルール作りを実行します。

〈約束〉

①外国人の在留資格の制度改定に対応し、国際協会等の関係機関と連携し、適切な外国人雇用の方法を模索します。
②政府の働き方改革に基づき、女性や高齢者が働きやすい魅力ある職場創りあげていくため、スタッフによる「働き方改革推進プロジェクトチーム」で協議します。

# 経営管理本部　事務局

2019スローガン

**ワーク・ライフ・バランスを深化・推進し、全ての人が「おきなでよかった」と思える処を目指します。**

〈運営方針〉

社会福祉法人制度改革に始まり、昨年は診療報酬・介護報酬の同時改定があり、平成31年度には、働き方改革、消費税増税などを控え、介護福祉事業を取り巻く経営環境は大きく変化しています。そのため、引き続き今後の動向を見据えた計画的予算執行による経営基盤の安定を図ります。
多様なワーク・ライフ・バランスを深化・推進することにより、気持ちにゆとりができ職員一人ひとりがお互いに思いやりと感謝の気持ちを持って、大切なおきなの仲間とともに長く歩み続けられる職場環境創りを目指していきます。また、これまで以上に地域の活動に積極的に参画したり、ホームページやブログ等でおきなの魅力や介護サービス情報を発信し、多くの方が気軽に集まっていただけるような開かれた地元一番の施設、そしてなによりも全ての人にとって「ここでよかった」と思える処（施設）を目指します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　地元地域の噂を独占できるようおきなの杜の活動や介護サービス情報をタイムリーに発信します。**

〈約束〉

① ﾌﾞﾛｸﾞ、SNS等の内容の質や更新頻度を上げ、新鮮な情報を発信します。
② あふれんばかりの魅力を満載に発信し、多様な人財の獲得を目指します。
③ 情報共有の伝達方法をさらに工夫していきます。

**目標2　業務の効率化・省力化を実践し、経費削減を図るため、ICT・IoTの利活用を進めていきます。**

〈約束〉

① 就業管理システムの導入及び運用に取り組みます。
② ICT・IoTを活用し、システム化できる仕組みを模索します。
③ 1業務2名体制を実行し、業務を円滑に出来る体制を作ります。

**目標3　働き方改革を推進し魅力ある職場環境を創り、離職防止と定着促進を図ります。**

〈約束〉

① 窓口としていつでも相談できる、すぐに対応することを実践します。
② ボランティアの受け入れを積極的に行いマンパワーの拡大を図ります。
③ 一人ひとりが自ら働き方を考え、自律できる職場環境を創造します。

# 身体拘束・虐待防止委員会

2019スローガン

**身体拘束ゼロ・虐待ゼロを目指します。**

〈運営方針〉

身体拘束ゼロ・虐待ゼロを目指します。定期的な学習会を含め、外部からも講師を招き、身体拘束・虐待についての知識を共有し
全スタッフで取り組みます。
おきなの杜での身体拘束・虐待の実態は無い状況ですが、厚生労働省の調査によると全国的に虐待の相談・通報が増えている現状にあります。
施設内のみならず、在宅での身体拘束・虐待の現状の把握を行い早期発見と早期解決に努めます。
施設内において身体拘束をする場合は、緊急かつやむを得ない場合の対応方法を全スタッフで周知をし、身体拘束を行う場合の記録の
徹底と観察、再検討による身体拘束解除に努めます。
5つの基本的なケア(①起きる、②食べる、③排泄する、④清潔にする、⑤活動する)を徹底しその人にあったケアを行います。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 身体拘束・虐待について、学習会を年に2回実施し、全スタッフに周知します。

〈約束〉

① 年に1度は行政の方に来所していただき、学習会を行います。
② 身体拘束ゼロへの手引きに沿って学習会を行います。
③ 30年度に作成した指針を基に委員会運営をします。

**目標2** 緊急やむを得ず身体拘束を行う場合の対応方法を周知します。

〈約束〉

① 緊急やむを得ない場合の3原則を理解します。
② 身体拘束を行う場合の記録の徹底に努めます。
③ 観察・再検討による早期身体拘束解除に取り組みます。

**目標3** その人らしい生活を送っていただきます。

〈約束〉

① 5つの基本事項についてその人にあった十分のケア徹底します。
② 個々人の状態を評価し、評価を基に適切なケアを行います。
③ 身体拘束を誘発する原因を探り除去します。

# 感染症・食中毒予防対策委員会

2019スローガン

**施設内の感染症（食中毒を含む）の予防や発生時の感染拡大を防止します。**

〈運営方針〉

高齢者は、感染症等に対する抵抗力が弱く、高齢者が多数生活する環境は、感染が広がりやすい状況にあります。
この事をきちんと認識し、感染症・食中毒を予防する体制を整備し、日頃から対策を実施するとともに、感染症発生時には迅速に適切な対応を取る必要があります。
感染症・食中毒予対策委員会では、感染症や食中毒の最新情報を入手すること、それに対しての正しい知識と対策の勉強会を実施し、健康・快適・清潔な環境を保持することを目的とし、取り組んでいきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 衛生管理の学習会を実施し、施設内の衛生管理、保持に努めていきます。

〈約束〉

① 施設内の衛生管理についての学習会を行い正しい知識を身につけます。
② 施設内の衛生管理に必要な物品を選択し、整備・補充をしていきます。
③ 各部署、衛生管理に必要な物品があるか、整理整頓、清掃、換気、消毒ができているか検査していきます。

**目標2** 発生しやすい季節の前に感染症に対する学習会を実施します。

〈約束〉

① 衛生管理の基本である「手洗い」についての学習を行います。
② 「食中毒」、「インフルエンザ」、「ノロウイルス」の学習会を行います。
③ ノロウイルスに関しては吐物処理の実践を行い、発生した場合、速やかに対応・処理ができるように学習します。

**目標3** 感染症についての知識を深め、早期発見に努め、感染拡大を防ぎます。

〈約束〉

① 感染症についての学習会を行います。症状、対処法などについて学びます。
② 住民様の異常の徴候をできるだけ早く発見できるよう、注意深く観察します。
③ 感染症が発生した場合や流行期は、感染拡大を防止するために、来設者への衛生管理の周知を行います。

# 褥瘡予防対策委員会

2019スローガン

**褥瘡予防対策を図り、褥瘡ゼロを目指します！**

〈運営方針〉

高齢者は、低栄養状態や活動の低下、疾病に伴う寝たきり状態に陥りやすく、褥瘡が発生するリスクがあります。
褥瘡予防対策委員会では、住民様の褥瘡発生予防に努め、発生時における苦痛の緩和と早期治療、及びケアの提供を適切に行っていきます。
住民様の身体状況、栄養状態、皮膚の状態、排泄の状況、寝ている時の姿勢など様々な視点からアセスメントし、改善策を考えて取り組んでいきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 褥瘡のリスクの高い方を定期的に把握し、個々に応じた対策を考えて実践します。

〈約束〉

① ブレーデンスケールを活用して褥瘡のリスクの高い方を把握します。
② リスクの高い方の状況を多職種で共有し予防策を検討し実践します。
③ 褥瘡が発生した場合は、速やかに多職種で改善策を検討し実践します。

**目標2** 褥瘡に関する学習会を行います。

〈約束〉

① 褥瘡の発生原理を学び、褥瘡についての知識を深めます。
② 医療的な処置、栄養学についても学びます。
③ 体圧分散、体位交換、姿勢保持、ポジショニング等の学習会も行い、合わせて実技を身につけます。

**目標3** 年2回事例検討会を開催し、事例に対しての予防策や改善策を考えます。

〈約束〉

① 外部の研修会に参加し、伝達研修を行い、新しい知識を身につけます。
② 事例検討会を行い、取り組み内容を協議し、活発な意見交換を行います。
③ 事例は、全国ユニットケア実践者研修で報告できるレベルの内容を作成し、研修会で発表します。

# 排泄オムツ委員会

2019スローガン

**「おむつゼロ」 自立排泄支援の段階的アプローチを考えます。**

〈運営方針〉

今年度、排泄オムツ委員会は「自立排泄の重要性」について考えていきます。
排泄ケアとは、それぞれの住民様の残存能力に応じた排泄のスタイルを見つけ出し、最適なケアを提供するための実践的な活動です。
排泄オムツ委員会では、「なぜ、オムツを使っているのか、その理由」をしっかりアセスメントできるように学習していきます。
トイレでの排泄を視野に入れて、排泄リハビリを行い、ベッド上からポータブル、ポータブルからトイレへと段階的に進めるように多職種で考え取り組んでいきます。
排泄は、人間の尊厳に関わる重要な課題です。おむつのない生活で、心も体も快適になり、住民様・利用者様の「プライドの復活」を考えていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** プライドの復活を実現するために、排泄マニュアルを作成します。

〈約束〉

① 現在使用中のパット、オムツの種類と特性を熟知します。
② パット、オムツの正しいあて方、交換が困難な方の対処法を学びます。
③ スタッフ全員が同じ排泄ケアができるように、見やすくて解りやすいマニュアルを作成します。

**目標2** 生活機能分類による自立排泄支援のアセスメントを行い、住民様一人ひとりに合った排泄ケアを考えます。

〈約束〉

① 自立排泄支援の重要性について、学習会を行います。
② 排泄行動のプロセスで障害をチェックするために表を作成します。
③ 住民様一人ひとりの排泄ケアの目標を定められるように学習し知識を深めます。

**目標3** トイレでの排泄を視野にいれ、排泄リハケア体操について学習し、取り入れていきます。

〈約束〉

① 排泄リハケア体操についての学習会を行います。
② ベッド上、トイレでの排泄リハビリを段階別に実施します。
③ 住民様のADLや残存能力に合わせた排泄リハビリを実行し、次のステップに進めるように取り組みます。

# 事故防止対策委員会

2019スローガン

**おきなの杜の安心・安全を守ります。**

〈運営方針〉

昨年はヒヤリハットの書式や内容について検討を行い、スタッフ全員で事故について考え、取り組む姿勢を持ちました。人が人の介護をしていく中で、事故は100％防げるものではありません。しかし、起こってしまった事故の中には防げる事故、防げたであろう事故もあります。
委員会では、事故の振り返りを行い、未然に防げるよう、取り組みを行います。また、対策が困難な事例については意見を募り、施設全体の課題として取り組みます。人が快く集えるおきなの杜にしていくために、住民様・ご利用者・ご家族・スタッフが風通しの良い関係を築き、皆さまから頂いた苦情・ご意見・要望をスタッフが共有し、より良いサービスの向上に繋げていくことが重要だと考えます。
また、昨今の大規模自然災害に対する準備として、十分な災害対策マニュアルの確認、スタッフへの周知が必要となってきます。被災時の事業継続計画を策定し、具体的訓練を行い、実際に災害がおきてもスタッフが落ち着いて、迅速に対応ができるように取り組みます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　防げる事故をブロック！ 事故ゼロを目指します。**

〈約束〉

① 発生した事故を事例検討し、要因・対策の検討を行い、ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸします。
② 事例によっては、委員会だけでなく、スタッフ全体で考える機会を持ちます。
③ スタッフのスキルアップのための緊急時対応など実習や学習会を行います。

**目標2　備えが大切！ 災害対策を充実させます。**

〈約束〉

① 各自然災害のマニュアルの見直し、スタッフへの周知を行います。
② 避難訓練を含めた災害時の実践的訓練やシュミレーションを行います。
③ 被災した場合の事業継続計画を策定します。

**目標3　苦情になる前に・・ お客様の声を聴きます。**

〈約束〉

① お客様の声BOXを活用し、定期的に確認、お返事を書きます。
② ケアの統一をすすめ、モデル体験などで介護される気持ちを理解します。
③ 突発的な電話や面会時のご家族対応について学ぶ機会を持ちます。

# おいしい(給食)・口腔ケア委員会

2019スローガン

**口からおいしく食べる。口腔内を清潔に保ち、健康に暮らす。**

〈運営方針〉

口からおいしく食べれるように安全で美味しい食事を提供するために、食事形態の見直しや食事用具、食事の姿勢などの学習を深めていきます。
今年度は口腔ケアについての学習に重点を置き取り組みます。
口腔ケアは、口の中を清潔にするだけでなく、QOLの向上、誤嚥性肺炎などの全身疾患の予防、健康状態の維持・向上につながります。
約3年前から口腔ケアに取り組み昨年度は誤嚥性肺炎での入院が2名と大幅に減り、口腔ケアの重要性が再認識できました。
スタッフ全員が同じケアが出来るように技術面を中心に学習して技術の向上を目指します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 住民様一人ひとりに合った食べやすい安全な食事形態を考えて提供します。

〈約束〉

① 住民様に合った食事を提供するため、多職種で食事形態を見直します。
② 低栄養にならないように、多職種で評価し、改善策を考えていきます。
③ 栄養改善できた事例をまとめ、発表し「考える力」「伝える力」を身につけます。

**目標2** 口腔ケアの学習を深め、口腔ケアの技術を習得して、住民様の口腔内の清潔を維持していきます。

〈約束〉

① なぜ、口腔ケアが重要なのか？口腔ケアについての学習会を行います。
② 訪問歯科の方に講師を依頼し、実技の学習会を定期的に開催します。
③ 口腔ケアの手順書を見直し、更新を行います。

**目標3** 季節に応じた行事食やおやつ作りを企画し、楽しい食事の提供を行います。

〈約束〉

① 調理企画は、日頃食べれないようなメニューを取り入れていきます。
② 行事食の提供、デイサービスではバイキングの企画を考え取り組みます。
③ 献立表の確認を行い、食材や調理法について検討し、安全な食事を考えていきます。

# 介護力向上委員会

2019スローガン

**スタッフ全員で介護技術のレベルアップを目指します。**

〈運営方針〉

職員の介護技術の向上を図るためあらゆる分野についての学習会を実施していきます。
「認知症ケア」「ターミナルケア」「接遇マナー」「コミニュケーション能力」「記録」「介護技術（入浴介助）」などを学習し、知識を深め日常の業務に取り入れていきます。スタッフのやりがいや向上心を高めていきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 「認知症」「ターミナルケア」「記録」について学習を行い、知識を深めます。

〈約束〉

① 認知症についての学習会や事例検討を行い対応策など学び考えます。
② ターミナルケアについては、年2回学習会を行います。
③ 的確な記録・記述ができるように記録について学習します。

**目標2** 社会人として、介護現場で働く者として必要な知識を身につけます。

〈約束〉

① 言葉使い、マナー、エチケット、身だしなみを習得し、職員の質を高めます。
② 会社のルールや行動規範について学習会を行います。
③ コミュニケーション能力を高めるために研修を行い、住民様、利用者様、ご家族様との信頼関係を築きます。

**目標3** 安全な入浴ができるように入浴の介助技術を習得します。

〈約束〉

① 入浴介助マニュアルを見直し、更新します。
② リフト浴・機械浴・特殊浴槽の操作方法については実技演習を行います。
③ 入浴についての事例検討を行い、安全な入浴方法を検証します。

# ノーリフトケア委員会

2019スローガン

**介護のプロとして「ノーリフティングケア」の考え方、技術を身につけます。**

〈運営方針〉

ノーリフティングケアとは「押さない・引かない・持ち上げない・ねじらない・運ばない」をキーワードとしてケアされる人の自立度を考慮した福祉用具の使用による移乗を行うための技術やポリシーや考え方のことです。
その為の技術や考え方を学んだり、介護する側の腰痛の軽減だけではなく、介護される側(住民様やご利用者様)の身体の負担や怪我を減らす事ができるという事を知ってもらえるような練習会や学習会を開催していきます。
ノーリフティングケアを行う事により、ケアされる側(住民様、ご利用者様)も、ケアする側も健康的な生活ができるように取り組み、誰からも選ばれるおきなの杜を目指します。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1** 「ノーリフティングケア」をおきなの杜の介護技術の基本とします。

〈約束〉

① 学習会でノーリフティングケアの技術を身につけて“ケアの統一”をします。
② 身につけた技術を覚えただけで終わらせずに毎日のケアに活用していきます。
③ 対象者を増やしていき、定期的に症例発表やグループワークを行う事で、取り組みの見直し、改善を行っていきます。

**目標2** ノーリフティングケアについての考え方を学びます。

〈約束〉

① なぜ、ノーリフティングケアが必要かを考え、ケアの見直しに繋げます。
② ケアによって起きている二次障害(皮膚剥離や拘縮等)を知り防いでいきます。
③ 時間の使い方や業務の見直しを行い、ノーリフティングケアに取り組みやすい環境を作っていきます。

**目標3** 誰からも選ばれるおきなの杜を目指します。

〈約束〉

① ケアする側される側もお互いに健康的な生活が維持できるよう取り組みます。
② ﾉｰﾘﾌﾃｨﾝｸﾞｹｱを取り組んでいる事で新たな求人増加に繋げていきます。
③ ﾉｰﾘﾌﾃｨﾝｸﾞｹｱを取り組んでいる事で新規利用者様や入居希望者様の増加に繋げていきます。

# 安全衛生委員会

2019スローガン

**見直そう生活習慣・高めよう健康意識**

〈運営方針〉

働く世代は健康に関心があっても、仕事や家庭が優先されがちです。健康を支え、守る上では、バランスの取れた食事や定期的な運動など自主的な活動だけでなく、一日の多くの時間を過ごす職場においても、健康に対する支援が必要です。
おきなの杜の職員が健康で安心して働き続ける事は、より質の高いサービスの提供に繋がると考えます。
健康診断の結果、生活習慣病の予備軍が年々増えてきている現状を踏まえ、自主的健康作りを支援する活動に取り組みます。
また、心の健康は、職員本人とその家族の幸福な生活のため、活気ある職場作りのために必要です。
メンタルヘルス不調者への対応だけでなく、職員の円滑なコミュニケーション、より快適な職場環境への改善等を含めた、より広い意味での心の健康作りに取り組んでいきます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1 生活習慣を振り返り、動機付け支援を行います。**

〈約束〉

① 健康診断を実施（年2回）し、異常の早期発見に努めます。
② 保健指導やアドバイスなど健康上の相談窓口となり、生活習慣改善を行います。
③ 健康への意識を高められるよう、定期的に季節ごとの健康アドバイスを発信します。

**目標2 快適な職場を作ります。**

〈約束〉

① 5しあう運動を推進（注意しあう・確認しあう・話し合う・助け合う・挨拶しあう）します。
② 4S活動（整理・整頓・掃除・清潔）で効率よく動ける環境を整えます。
③ 運動の機会を設けるため、ウォーキングや地域交流スペースでの体操、体育館でのスポーツを行います。

**目標3 安全衛生教育の充実を図ります。**

〈約束〉

① ストレスチェック（年1回）を実施し、個人のストレスへの気付きを促します。
② メンタルヘルス学習会を開催し、セルフケアができる知識を習得します。
③ 健康・安全意識向上のための学習会（腰痛予防、ハラスメント、感染症予防等）を実施し、安全に働ける環境を作ります。

# 行事･広報委員会

2019スローガン

**情報発信はオンタイム！行事はエンジョイタイム！**

〈運営方針〉

今年のテーマである「人の集まる処、おきなの杜」を作っていくために、行事･広報委員会の活動は大きな役割を担います。
「魅力のあるところには人が集まる」。そのため、おきなの杜の魅力を発信していくことが大事だと考えます。
広報は、情報発信をリアルタイムで行い、地域との関わり合いを持ち、地域活動について常にアンテナを張って情報収集を行っていきます。
また、おきなの杜を知っていただく為に、広報誌の情報を増やし、施設内での住民様･利用者様の様子や行事の様子、またスタッフの学習会や外部研修の伝達講習など様々な情報を掲載していきます。これまで以上に参画し、介護のコト、おきなのコトをたくさん発信していきます。
行事は、昨年「おきなの杜　大感謝祭」を開催し、気候も良く、地域の方々とのふれあいも出来、大盛況でした。今年も、さらに多くの方々にお越しいただけるように、企画･準備をしていきます。「魅力あるおきなの杜」を目指して、より一層盛り上げていきます。
引き続き、住民様･ご利用者様が生き生きした様子で満足していただける行事を季節ごとに企画し、思い出作りと親睦を深めていきます！！

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　情報発信はオンタイムで掲載します。**

〈約束〉

① ブログ･フェイスブックは新鮮な情報をタイムリーに発信します。
② スタッフの学習会の様子や伝達講習会開催の様子も発信していきます。
③ 年4回の広報誌のページを増やし内容を充実させて、リニューアルを行います。

**目標2　行事をひとつひとつ楽しめて、関わるすべての人が笑顔になれるように工夫します。**

〈約束〉

① 全体行事では、一部の職員だけではなく、全員で取り組みます。
② 準備から楽しいと思っていただくため、利用者様と一緒に取り組みます。
③ ボランティアを募集し、毎月開催される音楽教室や生花教室に追加できる新たな教室を考えます。

**目標3　魅力あるおきなの杜をアピールし、求人活動を行っていきます。**

〈約束〉

① 求人者に注目してもらえるような情報を発信します。
② 職員や利用者の声を発信しておきなの杜の良さをアピールします。
③ 法人の取り組みや成果を発信して「いい噂」をたくさん載せます。

# もったいない・環境整備委員会

2019スローガン

**THE MOTTAINAI 精神を磨き実践しよう！**

〈運営方針〉

今年で14年目を迎え、人が集まる処、おきな杜で暮らす住民様、利用者様、来館されるご家族様、そして働く職員にとって、快適に過ごせる空間づくりに取り組みます。そのために、必要な備品や書類とそうでないものを区別し不要なものを処分（整理）し、必要なものを使いやすい場所に、使いやすいようにきちんと置き（整頓）、身の回りのものや職場を、綺麗に掃除して、いつでも使えるようにし（清掃）、整理・整頓・清掃を維持して、誰が見ても綺麗で、分かりやすい状態に保ち、綺麗な状態を保とうという気持ちにさせること（清潔）を習慣化させ、定着させます（躾）。
この5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）を実践することで、おきなの杜で働くひとりひとりに物を大切にする心が生まれ、そこから仲間を気遣う心が育まれ、お互いに助け合える風土を作り、住民様、利用者様、来館されるご家族様にとって居心地のよい快適な空間創りを目指します。
引き続きMOTTAINAI精神を磨き、ひとりひとりができる小さな節約・節電・節水を積み重ねることにより、おきなの杜にとって、そして地球の温暖化防止にも貢献して行きます。
また、屋外での除草作業や不燃物回収等地域清掃活動を行い周辺地域の美化に貢献して行きます。

そのための『3つの目標』と『3つの約束』

**目標1　5S（整理・整頓・清掃・清潔・躾）の徹底に努めます。**

〈約束〉

① 館内の整理整頓責任者の管理を徹底し5Sの意識の啓発を行います。
② 日頃から断捨離を心がけ、年2回の大型不用品処分を行います。
③ 便利グッズの利用など、効率よくできる仕事の提案を行います。

**目標2　人の集まる心地よい環境づくりを行います。**

〈約束〉

① 玄関（エントランスホール）はいつもキレイを保ちます。
② 気持ちのいい挨拶と声掛けができる職場づくりを行います。
③ 節電を行いながら、寒すぎず、暑すぎない、環境に配慮します。

**目標3　世のため人のために取り組みます。**

〈約束〉

① 定期的に施設内外の清掃活動（除草作業・ゴミ拾い）を行います。
② 普段出来ない清掃箇所を定期的に清掃します。
③ エコキャップ回収活動に継続して取り組みます。